

抗議文

2022年3月4日

ロシア連邦大統領

ウラジーミル・ウラジーミロヴィチ・プーチン 閣下

苫小牧市長 岩倉博文

ロシアがウクライナ侵攻に踏み切り、核兵器の使用を示唆した一連の行為は、ウクライナ国民のみならず、国際社会の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に反する行為であり、厳重に抗議します。

武力による侵攻は、罪の無い多くの市民の犠牲を生み、恒久平和を希求する世界の人々の想いを踏みにじる行為であり、到底容認できるものではありません。

国際社会が核兵器のない世界の実現に向けて努力するなか、核兵器の使用はもとより威嚇行為も断じてあってはなりません。

「苫小牧市非核平和都市条例」を制定する苫小牧市を代表して、人々の尊い命と平和な暮らしを理不尽に奪う侵略行為を直ちに中止し、平和的解決への道を探ることを強く求めます。